

【情報セキュリティ・個人情報保護 研修】

日本赤十字社における 情報セキュリティおよび 個人情報保護について



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

目次

はじめに 本研修の目的

今ココ

基礎知識 1 情報セキュリティの基礎知識について

情報セキュリティ対策とは
インターネットとは
クラウドサービスとは

基礎知識 2 I T 資産の脅威について

インターネットを活用した脅威（外部攻撃）
被害者が加害者になりえる脅威
意図的ではない脅威（ヒューマンエラー）
組織内部の脅威・閉域網ネットワーク内にある脅威

基礎知識 3 I T 資産の安全な運用について

IDとパスワード
事故・障害への備え
著作物・ソフトウェアの無断使用禁止

基礎知識 4 個人情報保護について

個人情報とは
日本赤十字社における漏えい等事例
個人情報の取り扱いにかかる注意喚起

本研修の目的

本研修では、
コンピュータやインターネットについて基礎的な知識を身に付け、
情報セキュリティに関する適切な考え方や対策を習得することを目的として
います。

また、業務内で取り扱う様々な**個人情報についての理解を深め、正しい取
り扱い方法**について学んで頂きます。



犯罪者・ウイルスだけでなく、災害や人為的ミスから大切な情報を守るためには、職員全体の情報セキュリティについて見識を高めることが大切です。

目次

はじめに 本研修の目的

基礎知識 1 情報セキュリティの基礎知識について



情報セキュリティ対策とは
インターネットとは
クラウドサービスとは

基礎知識 2 I T 資産の脅威について

インターネットを活用した脅威（外部攻撃）
被害者が加害者になりえる脅威
意図的ではない脅威（ヒューマンエラー）
組織内部の脅威・閉域網ネットワーク内にある脅威

基礎知識 3 I T 資産の安全な運用について

IDとパスワード
事故・障害への備え
著作物・ソフトウェアの無断使用禁止

基礎知識 4 個人情報保護について

個人情報とは
日本赤十字社における漏えい等事例
個人情報の取り扱いにかかる注意喚起

情報セキュリティ対策とは

進歩したインターネット技術を悪用した

- コンピュータウイルス
- 迷惑メール
- コンピュータへの不正侵入

また、人為的なミスによる

- 個人情報の流出

などの危険から、コンピューターや個人情報などを守るために必要なセキュリティ対策をすること、それが**情報セキュリティ対策**です。



インターネットとは

複数のコンピュータを、ケーブルや無線などを使ってつなぎ、お互いに情報をやりとりできるようにした仕組みをネットワークと呼びます。

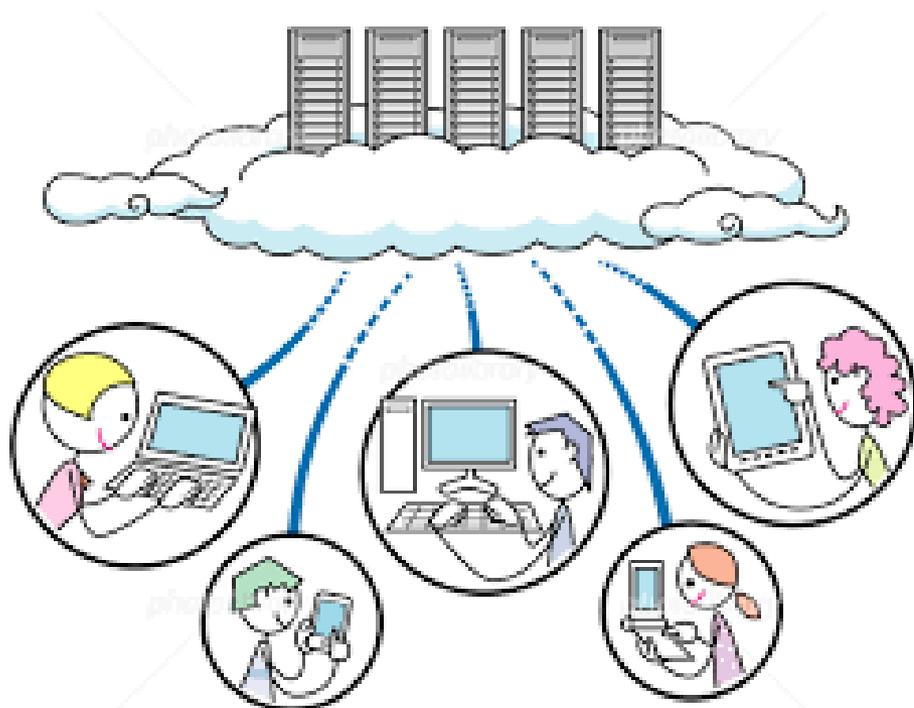
インターネットは、世界規模でコンピュータ同士を接続した、**最も大きいネットワーク**といえます。



クラウドサービスとは

クラウドサービスとは、**様々なデータやソフトウェアをインターネット上に保存し、利用するサービス**のことです。インターネット環境さえあれば、**どの端末・どの場所からでも、さまざまなサービスを利用することができます。**

クラウドサービスの利用には、**業務の効率化だけでなく、機器管理などに係るさまざまな手間や費用を削減できるメリット**があります。



**いつでも
どこからでも**

目次

はじめに 本研修の目的

基礎知識 1 情報セキュリティの基礎知識について

情報セキュリティ対策とは
インターネットとは
クラウドサービスとは

基礎知識 2 I T 資産の脅威について



今ココ

インターネットを活用した脅威（外部攻撃）
被害者が加害者になりえる脅威
意図的ではない脅威（ヒューマンエラー）
組織内部の脅威・閉域網ネットワーク内にある脅威

基礎知識 3 I T 資産の安全な運用について

IDとパスワード
事故・障害への備え
著作物・ソフトウェアの無断使用禁止

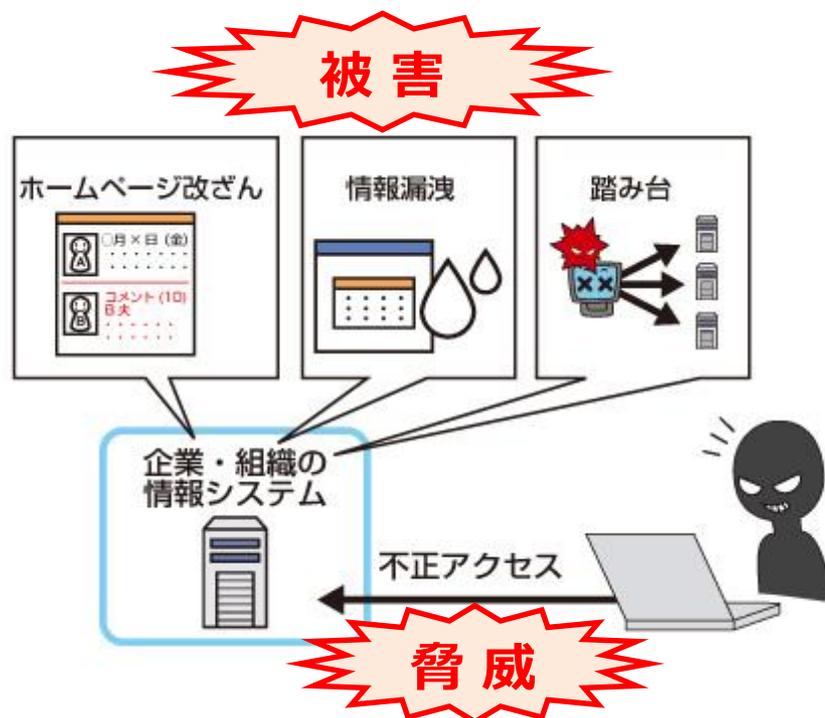
基礎知識 4 個人情報保護について

個人情報とは
日本赤十字社における漏えい等事例
個人情報の取り扱いにかかる注意喚起

インターネットを活用した脅威（外部攻撃）

インターネットは世界中と繋がっており、企業のパソコンやシステムは常に世界中から攻撃を受けています。そのため、不正に侵入される可能性は大いにあります。

外部から不正に侵入されると、サーバが停止してしまったり、重要情報が漏洩してしまったりと、企業や組織の業務やブランド・イメージなどに大きな影響を及ぼします。



被害者が加害者になりえる脅威

ウイルス感染した場合、その端末を踏み台にして、組織内部のパソコンやシステムへ次々と攻撃繰り返すウイルスがあります。

ウイルスに感染したパソコンの所有者は被害者ではありますが、そのパソコンから大量に迷惑メールを送信したり別のサイトを攻撃したりするため、その被害を受けた人から見るとウイルスに操られたパソコンの所有者が加害者として判断される場合があります。

補足 ホームページの改ざんによって、企業のホームページを閲覧した人たちを悪意のあるWebサイトへ誘導したり、ウイルスに感染させようとする手口もあるので注意！



感染に気づきにくい
巧妙な細工がされているので、
気付いたときにはオシマイよ！

意図的ではない脅威（ヒューマンエラー）

インターネットの脅威は、外部からの攻撃だけではありません。

意図的ではなく、操作ミスや設定ミス、紛失など、いわゆる「つい、うっかり」の過失（ヒューマンエラー）も脅威となります。

- 電子メールの送り先を間違えた
- 書類や記憶媒体の廃棄の方法を誤った
- 携帯電話やUSBを紛失した

といった過失が発生することで、利用者情報や機密情報が第三者へ漏洩することがあります。企業や組織における情報漏洩の原因の多くは、人の「つい、うっかり」やITの使いこなし能力（ITリテラシー）の不足によるものとされています。

宛先を間違えて
メール送信しちゃった！



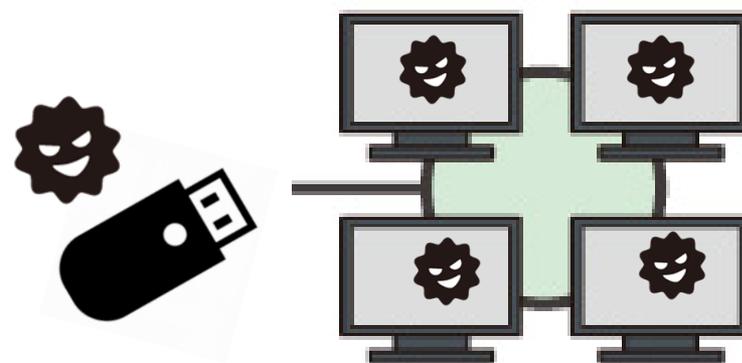
閉域網ネットワーク内にある脅威

インターネットに繋がっていなくても、ウイルス感染の驚異は存在します。

例えば、ウイルス感染したUSBメモリを使用することで、社内の閉域網ネットワークにあるシステムがウイルス感染する、場合などです。

ウイルス感染する入口はインターネットだけではなく、インターネットが繋がっていないところにも危険性があることを考慮し、セキュリティ対策を考える必要があります。

- (例)
- ・ 私物のUSBメモリは使わない
 - ・ USBメモリを使う前にウイルスチェックをしてから使用する等



企業内 LAN

閉域網ネットワーク

目次

はじめに 本研修の目的

基礎知識 1 情報セキュリティの基礎知識について

情報セキュリティ対策とは
インターネットとは
クラウドサービスとは

基礎知識 2 IT資産の脅威について

インターネットを活用した脅威（外部攻撃）
被害者が加害者になりえる脅威
意図的ではない脅威（ヒューマンエラー）
組織内部の脅威・閉域網ネットワーク内にある脅威

基礎知識 3 IT資産の安全な運用について

IDとパスワード
事故・障害への備え
著作物・ソフトウェアの無断使用禁止



基礎知識 4 個人情報保護について

個人情報とは
日本赤十字社における漏えい等事例
個人情報の取り扱いにかかる注意喚起

IDとパスワードの適切な取り扱い

IDとパスワードは、パソコンなどの情報機器やWeb上のサービスを利用する際に、許可された者であるかを識別し、本人を確認するための重要な情報です。

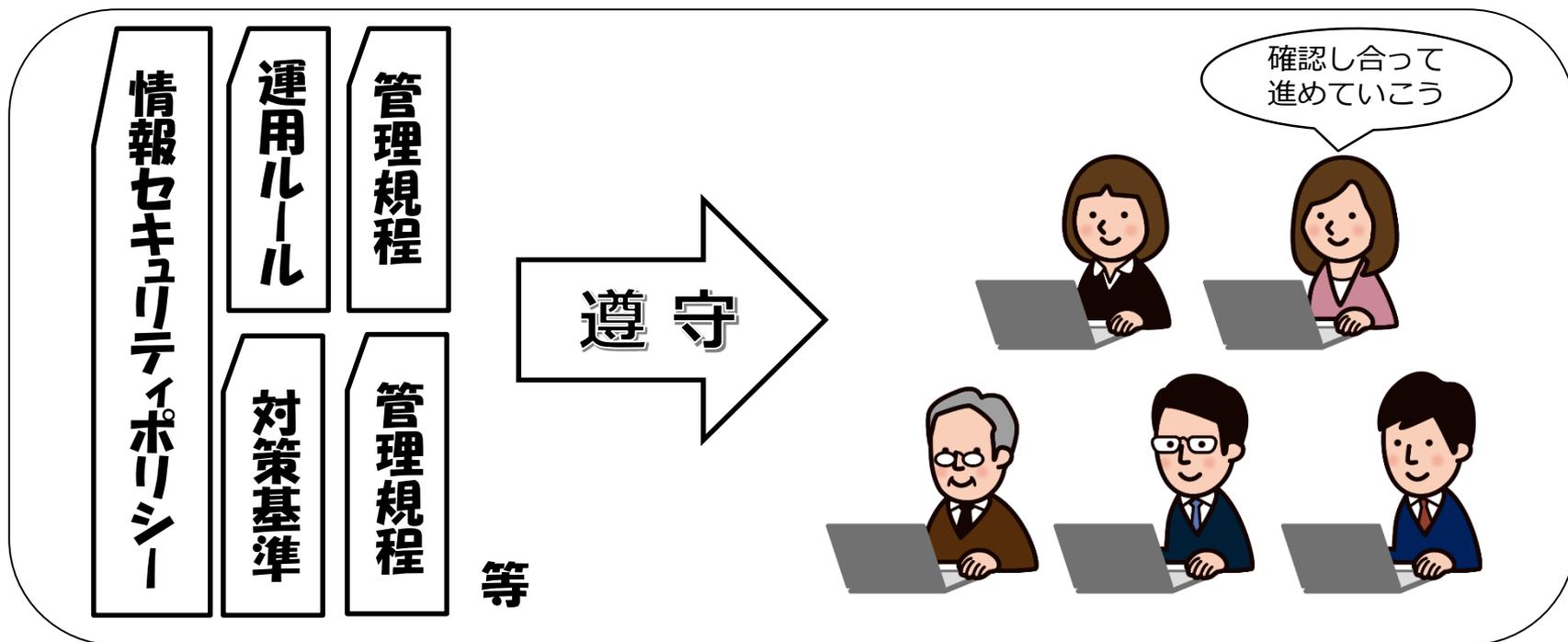
適切に管理し、定期的なパスワードの変更を心掛けましょう。



事故・障害への備え

事故や障害が完全に発生しないようにすることは困難です。しかし、その発生確率を下げたり、被害を最小限に抑えることは可能です。

過失による事故を未然に防ぐために、組織での情報セキュリティポリシーを遵守し利用や運用のルールを守ることはもちろん、人の過失に備えて、例えば二重の確認チェックなどを行うなど、こうした事故への対策をしましょう。



事故・障害への備え

コンピュータの故障や自然災害等によってデータが失われることを想定して日常的に重要情報のバックアップを取ることや、盗難防止の措置を取る必要があります。

クラウドサービスのような外部業者のサービスを使っていた場合は、その業者側での障害で影響を受けることもあるため、事故や障害時の対応・対策を確認しておく必要があります。

(業務委託契約書の内容の確認等)

コンピュータの故障



自然災害



著作物・ソフトウェアの無断使用禁止

インターネット上には、写真や動画、音楽、ソフトウェアなど様々な著作物が存在します。また、ソフトウェアには本来ライセンス料等を支払わなければならないものが、不正にアップロードされている場合があります。

それらを無断に使用することは、法律上禁止されているため、利用の際には十分に注意する必要があります。

特に、社外あての資料や、SNS等で公に情報発信する場合は十分注意する必要があります。

(※必ずシステム管理者および所属部署の長へ事前の確認を取るようにしましょう)



目次

はじめに 本研修の目的

基礎知識 1 情報セキュリティの基礎知識について

情報セキュリティ対策とは
インターネットとは
クラウドサービスとは

基礎知識 2 I T 資産の脅威について

インターネットを活用した脅威（外部攻撃）
被害者が加害者になりえる脅威
意図的ではない脅威（ヒューマンエラー）
組織内部の脅威・閉域網ネットワーク内にある脅威

基礎知識 3 I T 資産の安全な運用について

IDとパスワード
事故・障害への備え
著作物・ソフトウェアの無断使用禁止

基礎知識 4 個人情報保護について

個人情報とは
日本赤十字社における漏えい等事例
個人情報の取り扱いにかかる注意喚起



今ココ

個人情報等とは

○**個人情報**とは、**特定の個人を識別出来る情報のこと**です。

例えば、氏名・生年月日・電話番号・住所・本人を判別できる映像等が挙げられます。

※法人は「個人」には該当しないため、法人に関する情報は個人情報に含まれません。

似た言葉で、大寿園の皆さんに関係する下の2つについても説明します。

○**特定個人情報**：個人番号（いわゆるマイナンバー）を指します。

○**要配慮個人情報**：病歴や信条、健康診断やストレスチェックの結果、心身の障害についてなど本人に対する不当な差別、偏見その他の不利益が生じないように、その取扱いに特に配慮を要する情報のことです。

基本的に、
個人を識別できるものが「個人情報」とされますが、

これに限らず、
業務中に知り得た情報は全て機密情報であると考え、
家族やSNS等を含む社外へ漏らすことは厳禁です。



日本赤十字社における漏えい等事例

施設A

情報機器の廃棄処分の過程で患者データが残る可能性のあるパソコンが一部盗難の被害にあった。



施設B

看護師が入院患者情報を、看護師本人の家族に話し、患者に伝わった。

施設C

廃棄カルテ運搬中にカルテが車外に飛散し、市民から通報があった。



施設D

医師が患者情報の入っているノートパソコンを電車内に置き忘れた。



施設E

看護師が、自宅で集計業務を行うために、資料を持ち帰る途中、駅のトイレでバッグを紛失した。



業務中に知り得た情報を外部に漏らさない

業務中に知り得た情報を社外へ漏らすことは社会人としてご法度です。

家族や友人であっても、ついうっかり話してしまうことが無いように徹底しましょう。

また、職員同士で飲みに行った際、**大声で利用者のことを話す等の行為も厳禁**です。
こういった行為が個人情報の流出にあたることを、しっかりと認識しましょう！



利用者の事などを
大声で話すのは絶対ダメだぜ！

酒は飲んでも呑まれるな r y \$ % l
ふじこふい g c v b y . . .



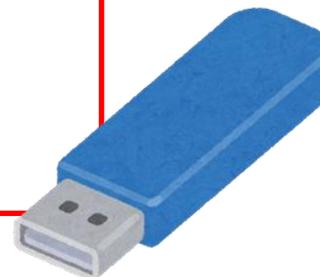


大切な個人情報を、机の上や不適切な場所に置きっ放しにしていませんか？

個人情報は施錠できるキャビネットに保管するなど、適切な場所に保管しましょう！

個人情報の入ったUSBメモリや書類を、社外に持ち出したりしていませんか？

- ・やむを得ず持ち出す場合は、紛失、置き忘れ、盗難等に十分気をつけましょう！
- ・パスワード付きUSBメモリに保存する場合は、保存するファイル自体にも暗号化の措置を施しましょう！





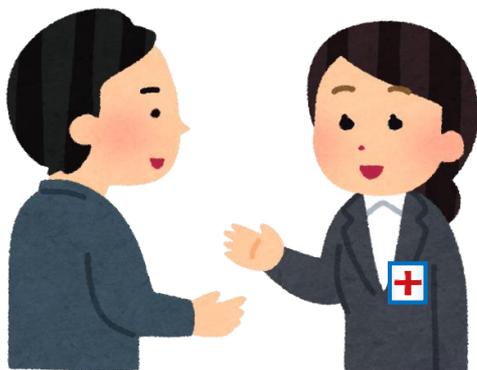
個人情報の書類を、裏紙に使用したり、ゴミ箱に捨てたりしていませんか？

個人情報が記載された書類は裏紙には使用せず、廃棄する際はシュレッダーにかけるなど適切に処分しましょう！

無意識のうちに、同意のない他人の個人情報をSNSに投稿していませんか？

誰でも気軽に投稿できるSNSは、投稿者の自覚が足りないと、個人情報漏えいの大問題にも繋がります。本人が識別できる顔写真や音声データも個人情報に該当しますので、投稿の際は十分気をつけましょう！





職員の個人情報を、本人の同意なく外部に提供していませんか？

入所者情報だけでなく、従業員（退職者を含む）に関する情報も、個人情報に該当します。外部に提供等する際は、事前に書面等で本人の同意を得ましょう！

一般の方々など、外部の個人メールアドレスの集合体を、宛先やCCに入れて一斉送信していませんか？

メールアドレスのみでも、特定の個人を識別できる場合は個人情報になります。識別が難しい場合であっても、大切な情報であることに変わりありませんので、BCCで非表示にするなど、漏えい防止に留意しましょう！





利用目的の達成に必要な範囲を超えて、
個人情報を取り扱っていませんか？

明示した利用目的と異なる個人情報の利用は、違法となります。

また、必要なくなった個人情報は、遅滞なく廃棄するなど適切に処分しましょう！

個人情報の不適切な取り扱いにより、日本赤十字社の信用が失墜することがないように、
**職員一人ひとりが、
自覚と責任をしっかりとって、
個人情報を取り扱きましょう！！**

